

## 伝達力

担当教員：小林大悟

### 授業内容

- ・ 研究計画のプレゼンテーション
- ・ 進学相談・指導

	出講日	曜日	AM (9:20~12:30)	PM (13:30~16:30)
1	11月13日	水	○	
2	11月26日	火		○
3	12月9日	月		○
4	1月21日	火		○
5	2月4日	火		○
6	2月18日	火		○

### 学習目標

伝達力を高めることを目指す

### 予習・準備物

レジュメ／パワーポイント／ポートフォリオなど

### 注意事項

出席重視

### 評価方法

授業での積極性

## 研究科 版画専攻

# 石版画

担当教員 板津 悟

受講アトリエ [工房]

2024/06/20(木)- 07/02(火)

9:20-12:30/13:30-16:30

### 授業内容

石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。

### 授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月20日	木		日本語B	○	オリエンテーション/研磨	
2	6月21日	金		自主制作		植田ゼミ	
3	6月22日	土		FA表現演習/版画講座		自主制作	
4	6月23日	日					
5	6月24日	月		日本語C	○	石版に描画	
6	6月25日	火		舒・植田ゼミ	○	石版に描画/製版	
7	6月26日	水		日本語A			
8	6月27日	木		日本語B			
9	6月28日	金		自主制作	○	製版/刷り制作	
10	6月29日	土		FA表現演習/版画講座		版画研究(舒)	
11	6月30日	日					
12	7月1日	月		文章表現	○	刷り制作	
13	7月2日	火		自主制作	○	講評会	

### 学習目標

講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。

### 予習・準備物

制作のもとになるエスキース、ウェス、新聞紙、紙（上質紙厚口、いずみ等）描画材料（ダーマトグラフ、ボールペン、等）、定規、鉛筆、マスキングテープ

### 注意事項

注意事項

### 評価方法

提出課題による採点

## 文章表現

担当教員：中田 真梨子

アトリエ：502

### 授業内容

講師による講義、研究計画書／小論文／願書の作成、講師による日本語の添削

	出講日	曜日	1限 (9:20~10:50)	2限 (11:00~12:30)	3・4限 (13:30~16:30)
1	5月20日	月	自習	○	
2	6月3日	月	自習	○	
3	6月17日	月	自習	○	
4	7月1日	月	自習	○	
5	9月9日	月	自習	○	
6	9月30日	月	自習	○	
7	10月21日	月	自習	○	
8	11月11日	月	自習	○	
9	11月25日	月	自習	○	
10	12月9日	月	自習	○	
11	1月10日	金	自習	○	
12	1月20日	月	自習	○	
13	2月3日	月	自習	○	
14	2月17日	月	自習	○	

### 学習目標

この授業では、研究計画書／小論文／願書などで用いられる学術的な日本語の書き方を学び、読み手に伝わる文章を書くことを目指します。

### 予習・準備物

鉛筆／シャープペンシル、消しゴム（授業内で小論文を書くことがあるため）

### 注意事項

初回に詳しいガイダンスを行いますので必ず出席して下さい。

### 評価方法

提出課題（研究計画書／小論文／願書）による採点

## 表現演習-美術鑑賞

担当教員：蔣 燕萍

## 授業内容

想像力が磨かれたり、教養が身に付いたり、表現力が豊かになったりと、美術鑑賞には様々な効果やメリットがある。そのため、美術鑑賞を課題研究の一環として認識して欲しい。

合同行動の場合は事前に情報を知らせる。

各自行動の場合、どこの美術館やギャラリーに行くのかは各自に任せる。

翌日「美術鑑賞レポート」の提出を忘れなく。

	出講日	曜日	AM (9:20~12:30)	PM (13:30~16:30)
1	4月15日	月		○ (ガイダンス)
2	4月22日	月		○
3	5月20日	月		○
4	5月27日	月		○
5	6月3日	月		○
6	6月10日	月		○
7	6月17日	月		○
8	6月24日	月		○
9	7月1日	月		○
10	7月8日	月		○
11	7月13日	土	○ (美大OC)	○ (美大OC)
12	9月2日	月		○
13	9月9日	月		○
14	9月17日	火		○
15	9月30日	月		○
16	10月7日	月		○
17	10月21日	月		○
18	10月28日	月		○
19	11月12日	火		○
20	11月26日	火		○
21	12月9日	月		○
22	2月3日	月		○
23	2月12日	水		○
24	2月18日	火		○
25	2月26日	水		○

## 学習目標

想像力、教養知識、表現力、直感力などを向上させこと。

## 予習・準備物

美術館やギャラリーに行く前に以下のポイントをやってほしい。

- ・ 作者/作品を予習する
- ・ 美術館などの混雑状況を調べておく
- ・ できれば音声ガイドを活用する

## 注意事項

出欠は翌日提出するレポートにて確認するので、レポートの提出は忘れないでください。

## 評価方法

提出レポート

研究科美術進学課程版画専攻分野

版画総合研究ゼミ B

4月2日

担当教員:植田 爽介

授業内容

自己の特性やこだわりを見つめ直す。他者の作品を鑑賞する。また時に社会の動きを注視してみる。それらを通して自分自身の表現や作品をより深く理解し、可能性を拓けることを目的に、個々の作品のアップデートとプレゼンテーションを行う。

	出講日	曜日	AM(9:20~12:30)	PM(13:30~16:30)
1	5月7日	火	○ 合同指導(植田・舒)	
2	5月10日	金		○ 植田ゼミ オリエンテーション:501
3	5月17日	金		○ 植田ゼミ
4	5月24日	金		○ 植田ゼミ
5	5月28日	火	○ 合同指導(植田・舒)	
6	5月31日	金		○ 植田ゼミ
7	6月7日	金		○ 植田ゼミ
8	6月14日	金		○ 植田ゼミ
9	6月21日	金		○ 植田ゼミ
10	6月25日	火	○ 合同指導(植田・舒)	
11	7月5日	金		○ 植田ゼミ
12	9月6日	金		○ 植田ゼミ
13	9月10日	火	○ 合同指導(植田・舒)	
14	9月13日	金		○ 植田ゼミ
15	9月20日	金		○ 植田ゼミ
16	9月27日	金		○ 植田ゼミ
17	10月4日	金		○ 植田ゼミ
18	10月11日	金		○ 植田ゼミ
19	10月15日	火	○ 合同指導(植田・舒)	
20	10月18日	金		○ 植田ゼミ
21	10月25日	金		○ 植田ゼミ
22	11月1日	金		○ 植田ゼミ

23	11月8日	金		○ 植田ゼミ
24	11月19日	火	○ 合同指導(植田・舒)	
25	11月22日	金		○ 植田ゼミ
26	11月29日	金		○ 植田ゼミ
27	12月6日	金		○ 植田ゼミ
28	12月13日	金		○ 植田ゼミ
29	1月10日	金		○ 植田ゼミ
30	2月25日	火	○ 交流会(植田・舒・蔣・鈴木など)	

### 学習目標

版画という技法についての基礎的な知識や拡がりを中心に、「自分にとって版画とは、そして表現とは何か」を考え、追求していくことを目標とします。時には課外学習として現代版画や現代美術について様々な作品を鑑賞し、作品が持つ魅力やコンセプトを幅広く知る術を養っていきます。また受験だけでなく、個々人が卒業後どのように社会に対してアプローチしていくかを考えながら、生活アイデア制作活動に対してさらなる思考を深めていきます。

### 予習・準備物

筆記用具、制作物、作品についてのプレゼンテーションの準備、小論文等

### 注意事項

個々の作品や小論文、出席状況を鑑みて柔軟な授業と評価を行っていきます。授業の進行に決まった流れにはありませんが、作品制作や小論文、準備物や出席状況が評価基準となりますので、ご注意ください。あくまで学内評価となりますので、ここでの配点が作品評価のみに直結するわけではありません。

### 評価方法

成績は100点満点とし、5段階で評価する。

(1)配点区分は下記に記す。

(2)成績評価は、定められた単位数に応じて課される提出作品・制作方法・小論文のすべてが対象になる。成績評価に当たっては、出席回数が授業回数の2/3以上になっていることや、学習状況等、総合的に判断される。

(3)作品、小論文等の提出物に関し、履修者以外の者が代理作成、または他の者が作成したポートフォリオ等を自ら作成したとして提出した場合は不可とする。

### 【評価】

100～95 A+

94～80 A

79～70 B

69～60 C

59～0 D(不合格)

保留－仮処置

## 版画総合研究ゼミ A

2024/04/13～2025/02/25

担当教員: 舒顔

## 授業内容

生徒一人ひとりが特別な存在であり、まずは自分自身の経験などからスタートし、自分らしさを発見し続け、それを版画制作と結びつけていこう。そのものが大学院に進学しても続けて作っていけるのが望ましい。

	出講日	曜日	AM(9:20～12:30)	PM(13:30～16:30)
1	4月13日	土		○ 舒ゼミ オリエンテーション:401
2	5月7日	火	○ 合同指導(舒・植田)	
3	5月11日	土		○ 舒ゼミ
4	5月18日	土		○ 舒ゼミ
5	5月28日	火	○ 合同指導(舒・植田)	
6	6月1日	土		○ 舒ゼミ
7	6月8日	土		○ 舒ゼミ
8	6月15日	土		○ 舒ゼミ
9	6月25日	火	○ 合同指導(舒・植田)	
10	6月29日	土		○ 舒ゼミ
11	7月6日	土		○ 舒ゼミ
12	7月16日	火	○ 舒ゼミ	
13	9月7日	土		○ 舒ゼミ
14	9月10日	火	○ 合同指導(舒・植田)	
15	9月21日	土		○ 舒ゼミ
16	9月28日	土		○ 舒ゼミ
17	10月5日	土		○ 舒ゼミ
18	10月15日	火	○ 合同指導(舒・植田)	

19	10月19日	土		○ 舒ゼミ
20	10月26日	土		○ 舒ゼミ
21	11月2日	土		○ 舒ゼミ
22	11月9日	土		○ 舒ゼミ
23	11月19日	火	○ 合同指導(舒・植田)	
24	11月30日	土		○ 舒ゼミ
25	12月7日	土		○ 舒ゼミ
26	1月11日	土		○ 舒ゼミ
27	1月20日	月	○ 舒ゼミ	
28	2月1日	土		○ 舒ゼミ
29	2月8日	土		○ 舒ゼミ
30	2月25日	火	○ 交流会(舒・植田・蔣・鈴木など)	

### 学習目標

進学ゼミ、当然全て進学のためにつとめる。

学生自身の個人経験と版画制作と合致化させるのは本授業の目標である。

さらに、デジタル時代・あるいはポスト・デジタル時代における版画は、古典な技法などを保ちべきが、単なる版画をじっくり制作するわけにはいけない。版画そのものは、革新している技術などと深く絡まい、情報をパブリック領域に発する前衛的な手段だと考えるべきだ。

### 予習・準備物

筆記道具、マインドマップ、スケッチ、制作物、研究計画書、面接回答文等

### 注意事項

アイデアなどが無くても、欠席しないでください。常に版画を巡って話し合ってから、何か良い制作(研究)方向が生じるかもしれない。

### 評価方法

まず、全員 85 点からスタート、毎回欠席: マイナス 5 点

進学準備態度によって プラス or マイナス 5 点

学生の皆さんへ、自分と競争してください。



## 日本語C

担当教員：中田 真梨子

## 授業内容

この授業では、文化／芸術／エンターテインメント／社会問題にかんする異なる2つのテーマについて日本語で考え、会話をします。  
以下の①②③④⑤を2セット行い、日常会話で役に立つフレーズ／語彙を身につけ、日本語の口語能力を鍛えます。

- ① テキスト／映像資料によるテーマの発表、フレーズ／語彙の解説（20分）
- ② 各自、テーマにかんするリサーチ（10分）
- ③ プレインストーミング（15分）
- ④ 各自、テーマにかんするスピーチの準備（15分）
- ⑤ 2分間スピーチ、講師からのフィードバック（30分）

	出講日	曜日	1限 (9:20~10:50)	2限 (11:00~12:30)	3・4限 (13:30~16:30)
1	4月15日	月	○	○	
2	4月19日	金	○	○	
3	4月22日	月	○	○	
4	4月26日	金	○	○	
5	5月10日	金	○	○	
6	5月17日	金	○	○	
7	5月24日	金	○	○	
8	5月27日	月	○	○	
9	6月7日	月	○	○	
10	6月10日	月	○	○	
11	6月14日	金	○	○	
12	6月24日	月	○	○	
13	7月8日	月	○	○	
14	9月2日	月	○	○	
15	10月7日	月	○	○	
16	10月28日	月	○	○	
17	11月18日	月	○	○	
18	12月2日	月	○	○	
19	1月27日	月	○	○	
20	2月10日	月	○	○	

## 学習目標

この授業では、日本語の会話力の向上を目指します。

## 予習・準備物

筆記用具、PC／スマートフォンの使用可（リサーチのため）

## 注意事項

初回に詳しいガイダンスを行いますので必ず出席して下さい。

## 評価方法

出席、授業での積極性

## 日本語B

担当教員：木村恵介、西形あゆみ受講ア

トリエ【502】

2024/5/16(木)~2024/9/26(木)

## 授業内容

- ・ 一分間スピーチ……あらかじめ提示したテーマに沿って、一分間ずつ話してもらう。
- ・ Show&Tell……日本文化やデザインに関するテーマについて調べ、ビジュアルとともに発表してもらう。
- ・ 美術語彙の聞き取り……『美の巨人たち』や『日曜美術館』といった美術に関する番組を視聴し、タスクシートを用いながら美術用語等の聞き取りを行う。

## 授業スケジュール／計画

	出講日	曜日	AM(9:20~12:30)	PM(13:30~16:30)
1	5月16日	木	○	
2	5月23日	木	○	
3	5月30日	木	○	
4	6月6日	木	○	
5	6月13日	木	○	
6	6月20日	木	○	
7	6月27日	木	○	
8	7月4日	木	○	
9	7月11日	木	○	
10	9月5日	木	○	
11	9月12日	木	○	
12	9月19日	木	○	
13	9月26日	木	○	

## 学習目標

美術・デザインに関する専門用語の勉強によって、日本語（特に口語能力）の向上を目標として挙げます。

## 予習・準備物

筆記用具、前回授業で配ったプリント用紙

## 注意事項

予習復習を徹底すること。

## 評価方法

授業態度による採点

## 日本語A

担当教員：蔣燕萍受講ア

トリエ:要町3F

2024/4/10(水)~2024/7/3(水)

## 授業内容

日本語能力試験N1未取得者対象の言語知識、読解、聴解の実践練習および模擬試験。

## 授業スケジュール／計画

	出講日	曜日	AM(9:20~12:30)	PM(13:30~16:30)
1	4月10日	水	○	
2	4月17日	水	○	
3	4月24日	水	○	
4	5月8日	水	○	
5	5月15日	水	○	
6	5月22日	水	○	
7	5月29日	水	○	
8	6月5日	水	○	
9	6月12日	水	○	
10	6月19日	水	○	
11	6月26日	水	○	
12	7月3日	水	○	

## 学習目標

- ①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける
- ②語彙力の向上

## 予習・準備物

筆記用具、配布資料

## 注意事項

- ・必ず出席してください。
- ・もし欠席や遅刻をする場合は必ず事前に連絡してください。
- ・宿題は期限内でやってください。

## 評価方法

出席状況、授業態度、宿題の完成状況、模擬試験

## 特別講座(講評会)

担当教員：高橋 庸平

### 授業内容

講評会の指導

### 授業スケジュール/計画

	出講日	曜日	AM(9:20-12:30)	PM(13:30-16:30)
1	11月21日	木		○ 講評会(高橋・関根・都築・蔣)

### 学習目標

各自のデザイン研究内容のステージを向上させる

### 予習・準備物

各自のデザイン研究内容のプレゼンテーション準備

### 注意事項

特になし

## 特別講座

担当教員：澤田 泰廣

### 授業内容

- ①日本のグラフィックデザイン研究（修士課程）の考査
- ②学生各自のデザイン研究内容に即した課題制作

### 授業スケジュール/計画

	出講日	曜日	AM(9:20-12:30 *休憩10分間)	PM(13:30-16:40)
1	6月15日	土	○ 講義	
2	11月未定	土		○ 講評会(澤田・上野・蔭)

### 学習目標

各自のデザイン研究内容のステージを向上させる

### 予習・準備物

各自のデザイン研究内容のプレゼンテーション準備

### 注意事項

特になし

## 伝達力

担当教員：靳沐之

## 授業内容

- ・ 研究課題を決めるための「考え方のトレーニング」と研究計画作成法を行う
- ・ 研究計画のプレゼンテーション
- ・ 進学指導

	出講日	曜日	AM	PM (13:30~16:30)
1	6月11日	火	○ 合同指導(靳・中田・蔣)	
2	6月14日	金	○ 伝達力	
3	6月28日	金	○ 伝達力	
4	7月2日	火	○ 合同指導(靳・中田)	
5	7月12日	金	○ 伝達力	
6	9月3日	火	○ 合同指導(靳・中田)	
7	9月13日	金	○ 伝達力A	
8	9月27日	金	○ 伝達力A	
9	10月1日	火	○ 合同指導(靳・中田)	
10	10月11日	金	○ 伝達力A	
11	10月25日	金	○ 伝達力A	
12	11月5日	火	○ 合同指導(靳・中田)	
13	11月8日	金	○ 伝達力A	
14	11月22日	金	○ 伝達力A	
15	12月3日	火	○ 合同指導(靳・中田)	
16	12月6日	金	○ 伝達力A	
17	1月10日	金	○ 伝達力A	
18	1月14日	火	○ 合同指導(靳・中田)	
19	1月21日	火	○ 合同指導(靳・中田)	
20	2月25日	火	○ 伝達力 交流会 (靳・蔣・中田)	

## 学習目標

伝達力を高めることを目指す

## 予習・準備物

レジュメ／パワーポイント／ポートフォリオなど

## 注意事項

出席重視

## 評価方法

授業での積極性

## 自己表現力

担当教員：中田 真梨子

## 授業内容

前期では、個別指導（ヒヤリング）を主に行います。研究計画書／小論文／願書にかんするひとりひとりの課題を明確にし、その課題への取り組み方を一緒に考えます。

後期では、前期でのヒヤリングも継続しつつ、研究発表を行い、「書く／話す」の両面で自身の研究内容を効果的に伝える練習をします。

	出講日	曜日	AM	PM
1	6月11日	火		○ 共同指導(中田・靳・蔣)
2	6月21日	金	○ 自己表現力	
3	7月2日	火		○ 共同指導(中田・靳)
4	7月5日	金	○ 自己表現力	
5	9月3日	火		○ 共同指導(中田・靳)
6	9月6日	金	○ 自己表現力	
7	9月20日	金	○ 自己表現力	
8	10月1日	火		○ 共同指導(中田・靳)
9	10月4日	金	○ 自己表現力	
10	10月18日	金	○ 自己表現力	
11	11月1日	金	○ 自己表現力	
12	11月5日	火		○ 共同指導(中田・靳)
13	11月15日	金	○ 自己表現力	
14	11月29日	金	○ 自己表現力	
15	12月3日	火		○ 共同指導(中田・靳)
16	12月13日	金	○ 自己表現力	
17	1月14日	火		○ 共同指導(中田・靳)
18	1月31日	金	○ 自己表現力	
19	2月7日	金	○ 自己表現力	
20	2月14日	金	○ 自己表現力	
21	2月25日	火		○ 交流会（中田・靳・蔣）

## 学習目標

この授業では、講師との対話をとおして、研究計画書／小論文／願書を適切な日本語で言語化することを目指します。

## 予習・準備物

ヒヤリング：添削してほしい研究計画書／小論文／願書

研究発表：レジュメ／パワーポイント／ポートフォリオなど

## 注意事項

初回に詳しいガイダンスを行いますので必ず出席して下さい。

## 評価方法

授業での積極性

絵画総合研究ゼミ B

担当教員: 葉 思堯

授業内容

- ・実技制作: 作品について講師との対話を通して、自身に問いを持つ習慣を身につけ、必要に応じて素材や技法を試します。
- ・テキスト作成&プレゼンテーション: 自作の分析と、展覧会や作品の研究を行います。
- ・展示構想
- ・ポートフォリオ等の作成

	出講日	曜日	AM(9:20~12:30)	PM(13:30~16:30)
1	6月22日	土		○ 発表会(川邊・葉・蔣)
2	6月26日	水		○
3	7月2日	火	○	
4	7月6日	土		○ 共同指導(川邊・葉)
5	7月10日	水	○	
6	9月4日	水	○	
7	9月7日	土		○ 発表会(川邊・葉・蔣)
8	9月18日	水	○	
9	9月25日	水	○	
10	10月2日	水	○	
11	10月9日	水	○	
12	10月16日	水	○	
13	10月26日	土		○ 発表会or模擬面接(川邊・葉・蔣)
14	10月30日	水	○	
15	11月6日	水	○	
16	11月13日	水	○	
17	11月27日	水	○	
18	12月4日	水	○	
19	12月11日	水	○	
20	1月11日	土		○ 発表会or模擬面接(川邊・葉・蔣)
21	1月15日	水	○	
22	1月29日	水		○

学習目標

絵画の「イメージを運ぶ力」は、自己表現の範疇より遥かに遠くまで及びます。また、見る・描く・見せるという一連の行為は繋がっており、そのように作者は絵画表現を通して世界や他者と繋がっています。

制作においては、テーマ・素材・技法の選択に限らず、構想と制作段階における細かい判断の一つ一つを精査し、自らの「絵画言語」を構築します。作家作品研究を通して、絵画とその周辺の空間(時代や社会も含め)は切り離せないことを理解し、展示構想を通して、支持体の周辺を巻き込んで「絵画空間」を立ち上げられることを試みます。

予習・準備物

- ・関心のある展覧会に足を運びましょう。
- ・過去作の実物・画像を見やすいようにまとめてください。
- ・進学志望者は志望校の行事日程(オープンキャンパス等)と受験関連事項をリサーチし、年間スケジュール表を作ってスケジュールを管理しましょう。

注意事項

- ・授業では極力日本語を使います。言語は大事な表現のメディアムです。絶対的に正しい言葉遣いがあるわけではなく、みなさんで自身の言葉を作っていきましょう。
- ・十分な制作時間を確保してください。手を動かしながら考えましょう。

評価方法

授業への取り組みと、展覧会や書籍等から積極的に学ぼうとしているかを重視し、成果物と合わせて総合的に評価します。



## 絵画総合研究ゼミA

担当教員：川邊 真生

## 授業内容

主に会話形式で作品やテーマについて掘り下げていく。もちろん集中して制作する時間が必要なが、授業内では自由に発言してほしい。作品と一見関係のないことであっても、日本語で好きなものや自分の生活、最近考えていることについてなんでも話せる時間にしたいと考えている。制作に関しては作品数を重視している。特に絵画であれば、素材や表現と自分を接続するためある程度の枚数を必要とするので、空いている時間があればデッサンやドローイングをする癖をつけてほしい。また、展覧会や読書、遊びなどを通して積極的に新しいものを取り入れる習慣を持つこと。自分の中にゼロからオリジナルが生まれるのではなく、外のことに対する反応として作品が発生する。その中で発見したものを授業中に教えてほしい。

	出講日	曜日	AM (9:20~12:30)	PM (13:30~16:30)
1	4月13日	土		○
2	4月20日	土		○
3	4月25日	木		○
4	5月9日	木		○
5	5月16日	木		○
6	5月18日	土		○
7	5月25日	土		○
8	6月1日	土		○
9	6月8日	土		○
10	6月15日	土		○
11	6月22日	土		○
12	6月29日	土		○
13	7月4日	木		○
14	7月6日	土		○
15	9月7日	土		○
16	9月12日	木		○
17	9月21日	土		○
18	9月28日	土		○
19	10月5日	土		○
20	10月12日	土		○
21	10月19日	土		○
22	10月24日	木		○
23	10月26日	土		○
24	11月2日	土		○

25	11月7日	木		○
26	11月9日	土		○
27	11月16日	土		○
28	11月21日	木		○
29	11月30日	土		○
30	12月5日	木		○
31	12月7日	土		○
32	12月14日	土		○
33	1月9日	木		○
34	1月11日	土		○
35	1月18日	土		○
36	2月1日	土		○
37	2月6日	木		○
38	2月13日	木		○

### 学習目標

- ・制作サイクルの確立

まず作ってみることから始め、そこからテーマや方向性を発見し具体化していく。制作した作品を自分で鑑賞してそこから次の展開を考えていくが、制作のハードルを上げすぎる必要はない。考えすぎて手が止まるよりは気軽な思いつきで新作に挑んでほしい。

- ・日本語による発表力の上達

進学するにしても作家活動をするにしても、日本で活動する以上は日本語で自分の考えを発表する必要がある。また、作品制作では抽象的な内容も扱うため、常に自分の作品を発表できるように準備しておくこと。

### 予習・準備物

- ・自分の作品制作や研究に関わる画材、道具。
- ・これまでの制作をまとめた作品集。論文や研究計画があれば持参。
- ・鉛筆デッサン道具

(鉛筆ステッドラーorハイユニ4H~5B、練り消し、フィキサチーフ、クリップ、ティッシュペーパー、サンフラワーM画用紙orシリウス画用紙B3、画用紙を固定するカルトンがあれば画板としてもデッサンの収納としても使用可能。)

- ・木炭デッサン道具※希望者のみ

(太めのヤナギ木炭、木炭芯抜き、紙やすり、絵画用ガーゼ、MBM木炭紙、木炭紙サイズカルトン、練り消しなどは鉛筆デッサンと共用。)

### 注意事項

- ・この授業は基本的に皆さんの参加がなければ成立しませんので必ず出席してください。
- ・もし欠席や遅刻をする場合は必ず事前に連絡すること。
- ・自分の制作や興味のあることには積極的に行動してください。

### 評価方法

- ・作品
- ・研究計画の内容や作品のテーマ、コンセプト
- ・出席率
- ・授業態度、制作に向かう意欲
- ・日本語による会話力

## メディアデザイン総合研究ゼミ

2024/04/12~2025/01/31

担当教員：白石慶子

## 授業内容

アニメーションは、絵画・文学・音楽など多様な得意技を生かせる総合芸術でもあります。  
コンテ・作画・撮影・編集などの制作を通して、進学のみならず作家として作り続けるための力を学びます。

	出講日	曜日	AM	PM (13:30~16:30)
1	4月12日	金		○
2	4月26日	金		○
3	5月10日	金		○
4	5月24日	金		○
5	6月7日	金		○
6	6月21日	金		○
7	7月5日	金		○
8	9月6日	金		○
9	9月20日	金		○
10	10月4日	金		○
11	10月18日	金		○
12	11月1日	金		○
13	11月15日	金		○
14	11月29日	金		○
15	12月13日	金		○
16	1月10日	金	○	
17	1月31日	金		○

## 学習目標

アニメーションは、多様な人々が観られる大衆芸術でもあります。  
自分の画や話を動かすことで他者の心を動かし、作品を媒体に人とコミュニケーションを取ることを目指します。

## 予習・準備物

自己紹介をするため、過去作品のデモリールやポートフォリオなどをご用意ください。今後のため、好きな作品のリサーチや、作りたいアニメーションを考えておいてください。

## 注意事項

進学や卒業後の制作に生かすため、期日までに作品や提出物を仕上げること。

## 評価方法

作品提出と出席日数による採点

## グラフィックデザイン総合研究ゼミ B

担当教員：上野 仁志

アトリエ：502

### 授業内容

「発想力を探る」「クリエイターに求められる力」等の講義を実施。

「研究テーマ」「新たな研究テーマ」を示す制作物を求め、アドバイスを実施する。

	出講日	曜日	AM (9:20~12:30)	PM (13:30~16:30)
1	4月10日	水		○ 合同指導 (上野・関根・都築・蔭)
2	4月13日	土		○
3	4月20日	土		○
4	5月8日	水		○ 合同指導 (上野・関根・都築・蔭)
5	5月11日	土		○
6	5月18日	土		○
7	5月25日	土		○
8	6月1日	土		○
9	6月5日	水		○ 合同指導 (上野・関根・都築・蔭)
10	6月8日	土		○
11	6月15日	土		○
12	6月22日	土		○ 401
13	6月29日	土		○
14	7月6日	土		○
15	7月9日	火		○
16	9月4日	水		○ 合同指導 (上野・関根・都築・蔭)
17	9月7日	土		○
18	9月21日	土		○ 401
19	9月28日	土		○

20	10月2日	水		○ 合同指導 (上野・関根・都築・蔭)
21	10月5日	土		○
22	10月12日	土		○
23	10月19日	土		○
24	10月26日	土		○
25	11月2日	土		○
26	11月6日	水		○ 合同指導 (上野・関根・都築・蔭)
27	11月9日	土		○
28	11月16日	土		○
29	11月30日	土		○
30	12月7日	土		○
31	12月10日	火		○
32	12月14日	土		○
33	1月8日	水		○ 合同指導 (上野・関根・都築・蔭)
34	1月11日	土		○
35	1月18日	土		○
36	2月10日	月		○ 交流会 (上野・関根・都築・蔭)

### 学習目標

各自の「研究テーマ」を構築し進化する。  
 または、「新たな研究テーマ」の探求・構築・進化する。

### 予習・準備物

「研究テーマ」文章および制作物を授業初日に提出。  
 研究テーマが複数ある場合は、全てを準備する。  
 研究テーマが決まっていない場合は、テーマ候補または、大学院に進学する目的を文章化。

### 注意事項

ノート筆記用具（PC・タブレット可）にて、気になったことは記録する。

### 評価方法

- ・ 出席率
- ・ 「研究テーマ」進化度

## グラフィックデザイン総合研究ゼミ A

2024/04/10~2025/02/13

担当教員：関根 慎一

## 授業内容

研究テーマについての確認・助言、及び研究テーマに沿った作品と課題の制作。

それらをまとめたポートフォリオの制作。

	出講日	曜日	AM (9:20~12:30)	PM (13:30~16:30)
1	4月10日	水		○ 合同指導 (関根・上野・都築・蔭)
2	4月18日	木		○
3	4月25日	木		○
4	5月8日	水		○ 合同指導 (関根・上野・都築・蔭)
5	5月16日	木		○
6	5月23日	木		○
7	5月30日	木		○
8	6月5日	水		○ 合同指導 (関根・上野・都築・蔭)
9	6月13日	木		○
10	6月20日	木		○
11	6月27日	木		○
12	7月4日	木		○
13	7月11日	木		○
14	9月4日	水		○ 合同指導 (関根・上野・都築・蔭)
15	9月12日	木		○
16	9月19日	木		○
17	9月26日	木		○
18	10月2日	水		○ 合同指導 (関根・上野・都築・蔭)
19	10月10日	木		○
20	10月17日	木		○
21	10月24日	木		○
22	10月31日	木		○
23	11月6日	水		○ 合同指導 (関根・上野・都築・蔭)

24	11月11日	月		○
25	11月14日	木		○
26	11月21日	木		○講評会（関根・都築・高橋）
27	11月25日	月		○
28	11月28日	木		○
29	12月5日	木		○
30	12月12日	木		○
31	1月8日	水		○ 合同指導 （関根・上野・都築・蔭）
32	1月20日	月		○
33	1月30日	木		○
34	2月6日	木		○
35	2月10日	月		○ 交流会 （関根・上野・都築・蔭）
36	2月13日	木		○

### 学習目標

- ①これまで研究してきたテーマを基に、研究計画書の作成と受験用ポートフォリオの充実を目指した40点以上の作品を制作する事。
- ②研究計画書を完成する事。
- ③受験用ポートフォリオを完成する事。

### 予習・準備物

- ・今後の研究計画の参考となる資料（メディア・作品・作家）について出来るだけ可能な限り収集しておく。
- ・使用するアプリ・画材・技法等について様々な可能性を検討しておく。
- ・初日オリエンテーションには各自研究テーマ、参考資料（指標となるクリエイターについて）、これまで制作してきた作品のポートフォリオを必ず用意する事。

### 注意事項

期日までに作品や提出物を仕上げる事。

### 評価方法

- ・研究テーマに沿った作品（制作物）が制作されているか、作品についての助言をきちんと反映させているかどうかについての評価。
- ・上記の目的を達成する為に様々な可能性について検証していると確認できる量の作品点数と完成度。
- ・出席率。

イラストレーション総合研究ゼミ

担当教員：都築潤

授業内容

- ・ 設定テーマに則したディレクション・プランニング課題
- ・ ディレクション・プランニング課題を基にした個別制作
- ・ 個別制作のメディア選択（モーション／イメージメイキングetc）
- ・ 日本語コミュニケーションの練習

	出講日	曜日	AM (9:20~12:30)	PM (13:30~16:30)
1	4月10日	水		○ 合同指導 (都築・上野・関根・蔭)
2	4月17日	水		○
3	4月24日	水		○
4	5月8日	水		○ 合同指導 (都築・上野・関根・蔭)
5	5月15日	水		○
6	5月22日	水		○
7	5月29日	水		○
8	6月5日	水		○ 合同指導 (都築・上野・関根・蔭)
9	6月12日	水		○
10	6月19日	水		○
11	6月26日	水		○
12	7月3日	水		○
13	7月10日	水		○
14	9月4日	水		○ 合同指導 (都築・上野・関根・蔭)
15	9月11日	水		○
16	9月18日	水		○
17	9月25日	水		○
18	10月2日	水		○ 合同指導 (都築・上野・関根・蔭)
19	10月9日	水		○



20	10月16日	水		○
21	10月23日	水		○
22	10月30日	水		○
23	11月6日	水		○ 合同指導 (都築・上野・関根・蔭)
24	11月13日	水		○
25	11月18日	月		○
26	11月21日	木		○ 講評会 (都築・関根・高橋)
27	11月27日	水		○
28	12月2日	月		○
29	12月4日	水		○
30	12月11日	水		○
31	1月8日	水		○ 合同指導 (都築・上野・関根・蔭)
32	1月15日	水		○
33	1月29日	水		○
34	2月5日	水		○
35	2月10日	月		○ 交流会 (都築・上野・関根・蔭)
36	2月19日	水		○

### 学習目標

- ・ 研究テーマと制作テーマの確立
- ・ テーマポートフォリオの制作
- ・ テーマプレゼン用資料の作成
- ・ 日本語プレゼンテーションの習得

### 予習・準備物

- ・ 主張するテーマに必要な知見の調査 (先行研究・事例、日常観察etc)
- ・ 取得情報の整理、図式化、見える化 (スケッチブック、PCによる整理)
- ・ 制作に必要なツールの習得

### 注意事項

- ・ 出席、授業態度、課題提出を著しく怠らない

### 評価方法

- ・ 出席、授業態度、課題提出、課題内容

## VD表現演習

担当教員：蔣 燕萍

アトリエ：要町

## 授業内容

この授業は研究科ビジュアルデザインコース生を対象とする。主に講師との個別対話で行う。  
PDCAサイクル法でそれぞれが持つ課題を改善させていく。

	出講日	曜日	AM (9:20-12:30)	PM (13:30-16:30)
1	4月16日	火	○	
2	4月23日	火	○	
3	5月9日	木	○ 502・603	
4	5月14日	火	○	
5	5月21日	火	○	
6	5月31日	金	○ 502・603	
7	6月4日	火	○	
8	6月11日	火	○	
9	6月18日	火	○	
10	6月28日	金	○ 502・603	
11	7月2日	火	○	
12	7月9日	火	○	
13	9月3日	火	○	
14	9月13日	金	○ 502・603	
15	9月17日	火	○	
16	9月24日	火	○	
17	10月1日	火	○	
18	10月8日	火	○	
19	10月16日	水	○	
20	10月22日	火	○	
21	10月29日	火	○	
22	11月5日	火	○	
23	11月12日	火	○	
24	11月20日	水	○	
25	11月26日	火	○	
26	12月3日	火	○	
27	12月10日	火	○	
28	1月9日	木	○ 502・603	
29	1月14日	火	○	
30	1月21日	火	○	
31	1月28日	火	○	
32	2月4日	火	○	
33	2月18日	火	○	
34	2月26日	水	○(説明会) 502	

## 学習目標

Plan (計画を作成する) → Do (実行) → Check (行動を評価・分析) → Action (対策・改善) → Plan (計画を再制作) …というプロセスを循環させ、一人一人に合わせた進学プランを掘り下げて確立・進化する。

## 予習・準備物

- ・講師との相談内容は、授業前日までにまとめてください。相談内容に合わせて必要な書類を持って来てください。
- ・筆記用具、管理手帳を持って来てください。

## 注意事項

- ・必ず出席してください。
- ・もし欠席や遅刻をする場合は必ず事前に連絡してください。
- ・宿題は期限内でやってください。

## 評価方法

出席状況、授業態度、課題の完成状況

## FA表現演習

担当教員：蔣 燕萍

## 授業内容

この授業は研究科ファインアートコース生を対象とする。主に講師との個別対話で行う。  
PDCAサイクル法でそれぞれが持つ課題を改善させていく。

	出講日	曜日	AM (9:20~12:30)	PM (13:30~16:30)
1	4月13日	土	○	
2	4月20日	土	○	
3	5月11日	土	○	
4	5月18日	土	○	
5	5月25日	土	○	
6	6月1日	土	○	
7	6月8日	土	○	
8	6月15日	土	○	
9	6月22日	土	○	
10	6月29日	土	○	
11	7月6日	土	○	
12	7月12日	金	○	
13	9月7日	土	○	
14	9月11日	水	○	
15	9月21日	土	○	
16	9月28日	土	○	
17	10月5日	土	○	
18	10月12日	土	○	
19	10月19日	土	○	
20	10月26日	土	○	
21	11月2日	土	○	
22	11月9日	土	○	
23	11月16日	土	○	
24	11月30日	土	○	
25	12月7日	土	○	
26	12月14日	土	○	
27	1月11日	土	○	
28	1月18日	土	○	
29	1月25日	土	○	
30	2月1日	土	○	
31	2月8日	土	○	
32	2月15日	土	○	
33	2月21日	金	○	
34	2月27日	木	○ (説明会)	

## 学習目標

Plan (計画を作成する) → Do (実行) → Check (行動を評価・分析) → Action (対策・改善) → Plan (計画を再制作) …というプロセスを循環させ、一人一人に合わせた進学プランを掘り下げて確立・進化する。

## 予習・準備物

- ・講師との相談内容は、授業前日までにまとめてください。相談内容に合わせて必要な書類を持って来てください。
- ・筆記用具、管理手帳を持って来てください。

## 注意事項

- ・必ず出席してください。
- ・もし欠席や遅刻をする場合は必ず事前に連絡してください。
- ・宿題は期限内でやってください。

## 評価方法

出席状況、授業態度、課題の完成状況

## ビジュアルコミュニケーションデザイン演習

2024/4/16~2024/6/4

担当教員：大石 恵美子

アトリエ：502

## 授業内容

1つのテーマから100種類のビジュアルを作る

## 授業スケジュール/計画

	出講日	曜日	AM(9:20-12:30)	PM(13:30-16:30)
	4月16日	火		「課題の書類：簡易版」を配布（助手担当）
1	4月23日	火		○ オリエンテーション後に「テーマ発表」
2	5月7日	火		○
3	5月14日	火		○
4	5月21日	火		○
5	5月28日	火		○
6	6月4日	火		○ 講評会

## 学習目標

ビジュアルコミュニケーションのデザインをするために必要な5つの基本的な力を養います。

①柔軟な発想力 ②幅広い表現力 ③物量を克服する持久力 ④表現の説得力 ⑤自分のアイデアと技術を磨き上げる執着心

## 予習・準備物

①どんなテーマにするか？考えておいてください。

②多彩な表現方法を実践するため、参考になる作品を集めておく。（得意な技法のレベルアップはもとより、未体験・苦手な技法に挑戦すること）

## 注意事項

自由度が高い課題なので、なるべく多くの画材や技法やアプリなどを使うこと。

時間配分に気をつけて、早め早めに作ること。

## 評価方法

この3つが評価ポイントです。

①課題の理解度 ②提出日厳守 ③制作意欲・表現内容の多彩さ